

令和6年度 かほく市立宇ノ気小学校 学校評価計画書 No.3

重点目標	自己評価						改善策			
	具体的取組	主担当	評価の観点	到達度判断基準		判定基準		前期到達度	後期到達度	
3 豊かな心の教育の充実	① 道徳の時間を中心とした道徳教育の充実に努める	道徳推進教師	努力	学年共通道徳を行い、「考え、議論する道徳」の実践に努めている。	教員アンケート		4+3の割合	100	「考え、議論する道徳」のための発問のつくり方や、問題意識のたせ方など、具体的な授業づくりについて道徳便りを通して広めていく。また、「授業構想シート」を活用した道徳の授業づくりも検討していく。	
			成果	道徳の授業を通して、よりよい生き方について考えることができた	児童アンケート		4+3の割合	92.3		
	② 地域の方との交流や地域の資源（自然・伝統・文化等）を積極的に活用することで、郷土を愛する心情を養う。	主幹	成果	児童は、自分の住んでいる地域のよさを感じている。	児童アンケート		4+3の割合	95.4		地域人材や外部人材の方との関わり合いを通して、自分たちの住んでいる地域を新たな視点で見つめ、よさを感じられるようにする。そのために、今後もコーディネーターの方との連絡を密にし、円滑に進められるようにする。
			成果	郷土の自然・人・ものにふれて学ぶ教育活動を積極的に取り入れている。	教員アンケート		4+3の割合	93.8		
学校関係者評価	11月6日（水）の学校運営協議会でご意見をいただく。									